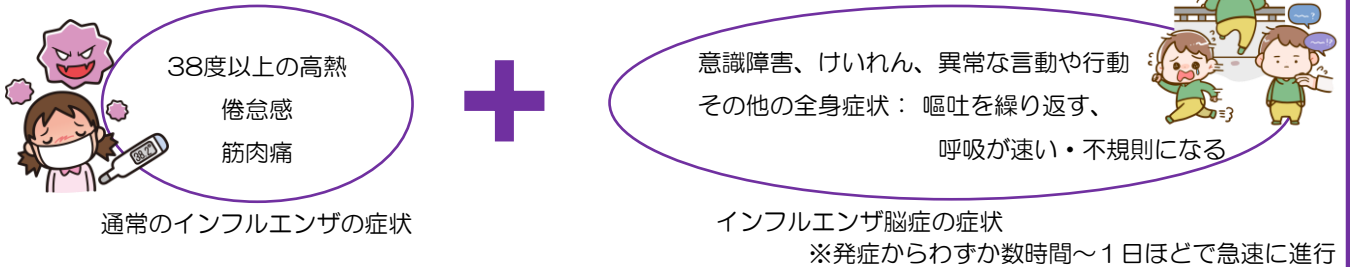


保育園でのインフルエンザ発生第2波(?)が落ち着きました。クラスでかかった子が出てしまうと、どうしても友だちと近い距離で過ごす子どもたちには感染が広がってしまいます。流行期には、出来る限り他クラスとの交流を避けた活動をしていますが、朝早い時間や夕方の遅い時間は、どうしても一緒にならざるを得ない状況です。

園内での対策としては、換気、手洗いを継続して行っています。いつもと違う様子があった際には、ご連絡をさせていただいていますので対応をお願いします。

インフルエンザ脳症とは

インフルエンザ脳症は、インフルエンザウイルスの感染が引き金となり、急激に脳に炎症が起きて脳機能が悪化する、非常に重篤な合併症です。ほとんどのインフルエンザは1週間ほどで回復しますが、一部、特に子どもでは命に関わる事態に発展することがあります。



判断に迷ったらインフルエンザ脳症の可能性を疑って行動することが何よりも重要です。

基礎疾患のない健康な子どもでも突然発症するケースが非常に多いという事実があります。

「うちの子は体が丈夫だから大丈夫」という思い込みは禁物です。元気だった子の未来を一瞬で変えてしまう可能性があるのが、この病気の怖いところです。

解熱剤の使用に注意が必要です

子どもに推奨される解熱剤はアセトアミノフェンです。

(商品名：カロナール、アンヒバ坐剤など)

小児のインフルエンザ発熱時に第一に推奨されます。

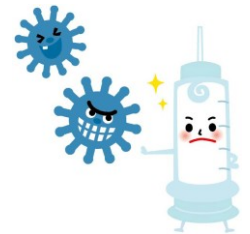
ただし、発熱はウイルスと戦うための体の防御反応でもあります。解熱剤は「38～38.5度以上の高熱で元気がなくぐったりしている場合」に使い、無理に平熱まで下げる必要はありません。



最大の予防策は「インフルエンザワクチン」

インフルエンザ脳症を予防するために最も有効な手段の一つが、インフルエンザワクチンの接種です。ワクチンを接種してもインフルエンザにかかることはありますが、ワクチンには「脳症や肺炎などの重篤な合併症や死亡のリスクを大幅に下げられる」効果があることが、多くの研究で報告されています。

感染を家庭に持ち込まないためにも、周囲の大人も含めて「家族全員で予防接種を検討する」ことが重要です。



インフルエンザ出席停止期間 発症日から5日間が経過し、かつ解熱後3日間が経過したのち登園可能

発症日	発症後5日間(出席停止期間)					発症後5日を超えて			
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後1日目に解熱した場合	👤	👤	👤	👤	👤	🏠	🏠	🏠	🏠
発症後2日目に解熱した場合	👤	👤	👤	👤	👤	🏠	🏠	🏠	🏠
発症後3日目に解熱した場合	👤	👤	👤	👤	👤	🏠	🏠	🏠	🏠
発症後4日目に解熱した場合	👤	👤	👤	👤	👤	🏠	🏠	🏠	🏠

※出席停止期間の延長

インフルエンザにかかった際は下記内容を確認しておりますので、ご連絡をお願いします。

- 発症日
- 解熱日 ※未就学児は解熱後3日間の療養が必要です。

以上をうかがい、登園再開日を一緒に確認させていただきます。

